

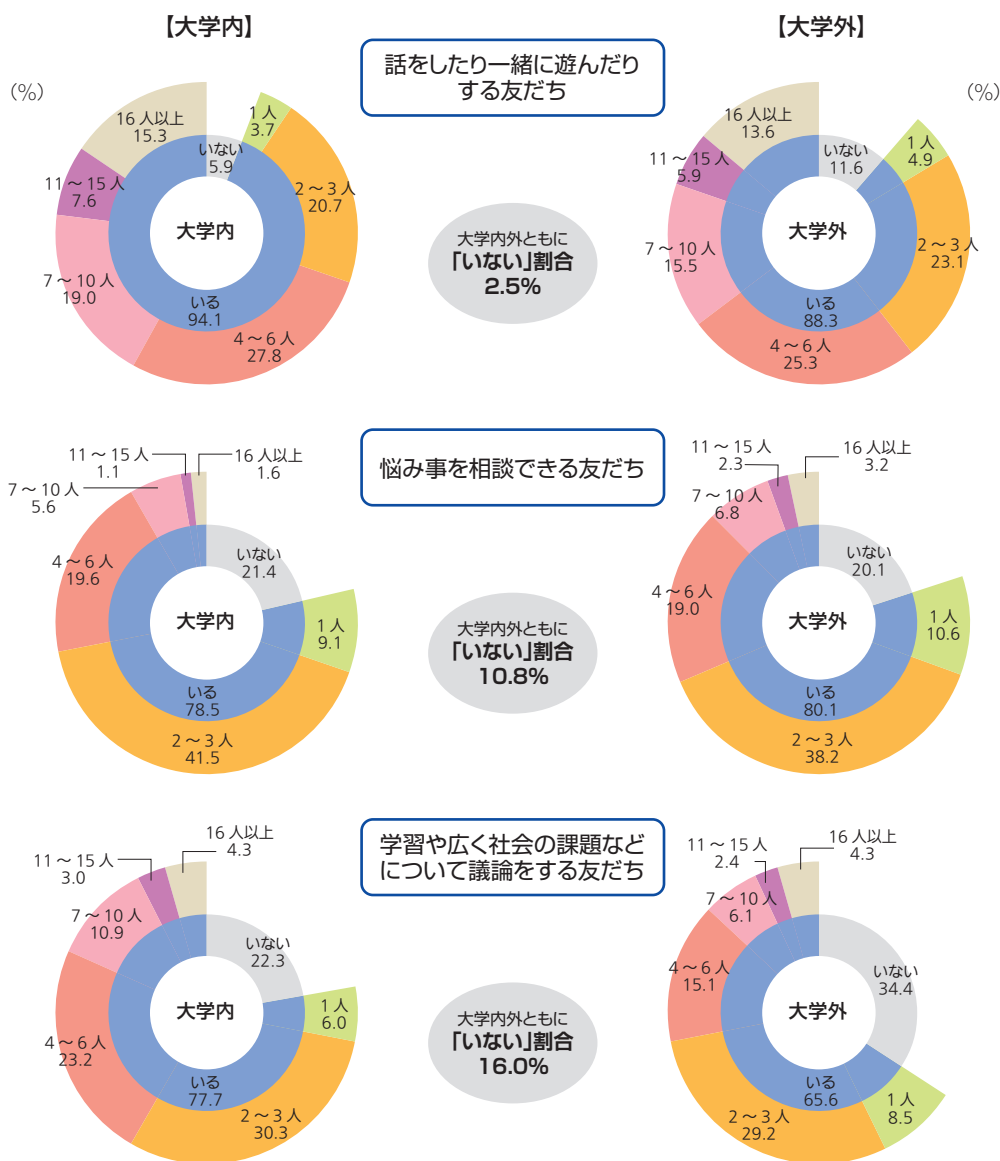
話をしたり遊んだりする友だちは4~6人、悩みを相談する友だちは2~3人で最多

大学の内外に分けて友だちの数をたずねた。「話をしたり一緒に遊んだりする友だち」が1人以上いる割合は大学内94.1%、大学外88.3%である。人数はいずれも「4~6人」が多い。「悩み事を相談できる友だち」は大学内78.5%、大学外80.1%で、人数は「2~3人」が多い。「学習や広く社会の課題などについて議論をする友だち」については大学内77.7%、大学外65.6%と大学内が多くなっている。一方、友だちが「いない」方に着目すると、「悩み事を相談できる友だち」が大学内外ともに「いない」学生が全体の1割ほど存在している。



現在、付き合っている友だち(大学内・大学外の友だちも含む)との関係についてお聞きます。次のようなことをする友だちは全部で何人くらいいますか。

図30 友だちの数(全体)



注)サンプル数は4,911名。

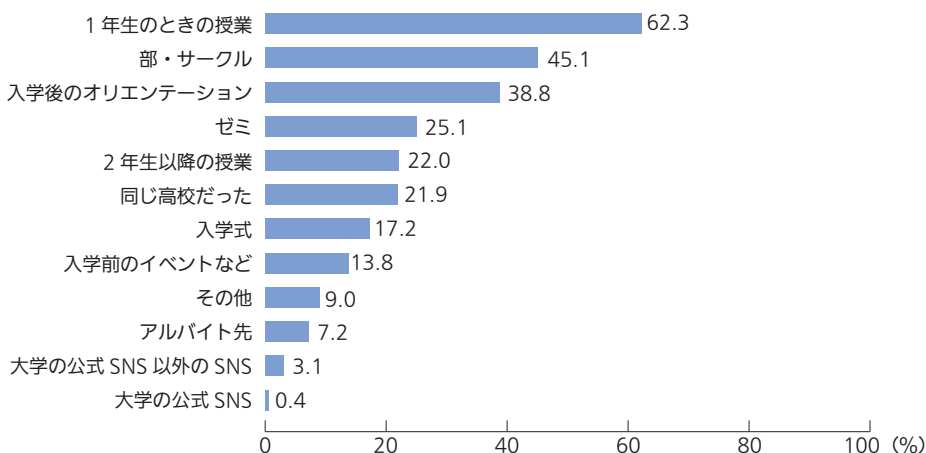
友だちづくりには1年生の時の授業が重要

仲良くしている友だちと知り合ったきっかけは、「1年生のときの授業」が約6割でもっとも多い。友だちとの関係について、「一人で行動していても気にならない」「違う意見を持った人とも仲良くできる」との回答（「とてもそう」+「まあそう」の%、以下同）が8割を超え、自立した対人意識がうかがえる一方で、「友だちと話が合わないと不安に感じる」「一人で食事をしているところを人に見られたくない」も4割程度にのぼる。



大学で今仲良くしている友だちとは、何をきっかけに知り合いましたか。あてはまるものすべてお選びください。

図31 友だちと知り合ったきっかけ（全体）

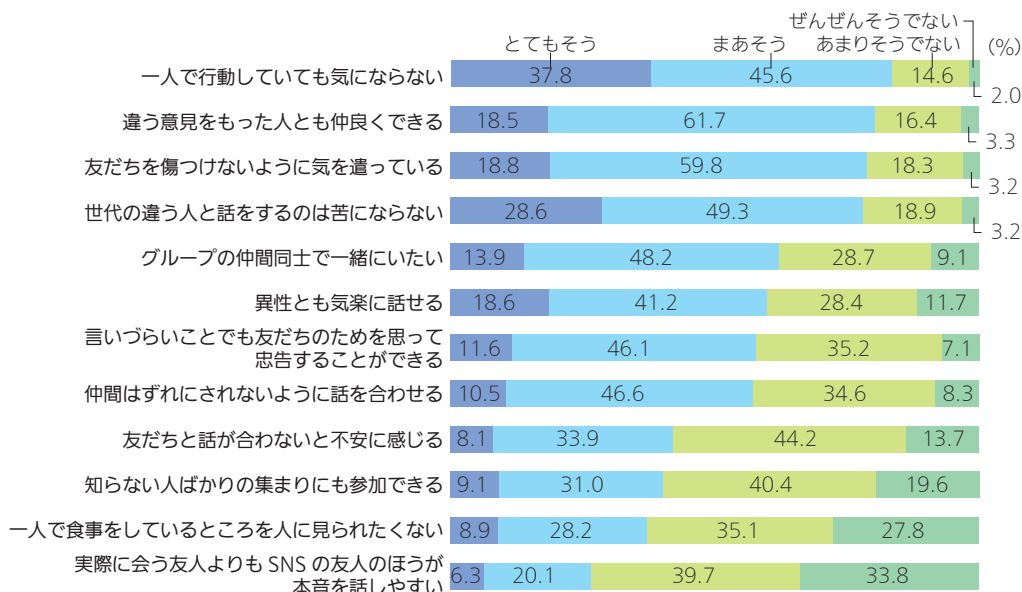


注1)複数回答。注2)サンプル数は4,911名。



友だちとの関係について、次のようなことはどのくらいありますか。

図32 対人関係に関する意識（全体）



注)サンプル数は4,911名。